

春、サクラ

4月上旬、町内の桜が例年より10日ほど早く開花。古典桜の里に春がやってきました。

4月8日、樹齢500年を超える古典桜の中で今年も一番早く開花した殿入ザクラ。「今年は暖冬の影響で桜が早く開花すると思った」と話す県外からの観光客の姿がありました。

釜ノ越農村公園では、17日から始まる予定だった「釜ノ越・薬師さくらまつり」が、桜満開のため1日早くスタート。まつり初日は天気も良く、県内外から多くの方が訪れました。地元の銘菓や農産加工品、手作り雑貨などが並ぶ売店はもちろん、今年度から始まったスタンプラリーも好評でした。

翌4月17日には、昨年に引き続き2回目となる「さくらさくらステージ」が開催され、町内で活動する「いとはん」「鷹翔會」「高玉芝居」に加え、長井市からけん玉グループの「べにばなレジェンド」が参加。それぞれが歌や演奏、舞、けん玉の技を披露し、観客を楽しませました。

毎年恒例となった「高玉芝居公演」が行われたのは4月23日。連日の好天により桜の状況が心配されましたが、時折吹く桜吹雪が風情を引き立て、この地に200年以上続く義理人情劇に、訪れた大勢の観衆は魅了されました。

桜も葉桜となってきた4月24日、さくらまつりの最終日となったこの日は「～花ウォーク～ 白鷹古典桜・さくら回廊そぞろ歩き」が開催されました。桜満開の中とはなりませんでしたが、参加者はうららかな春の日差しを受けながら、約10^{キロ}のコースを楽しく歩きました。

今年も町内各地で多くの人を楽しませてくれた、しらかのさくら。その美しい姿を見ることができたのは一瞬ですが、これからも皆さんの心にずっと残る思い出ができたのではないのでしょうか。――

- 1. 桜吹雪舞う高玉芝居
- 2. ライトアップされた殿入ザクラは、昼とはまたちがう美しさ
- 3. 釜ノ越サクラ十二の桜・山口奨学桜・八乙女種まきザクラをつなぐスタンプラリーを実施
- 4. 十二の桜の茶屋で名物の「夜中のかいもち」
- 5. 花ウォークには町内外から約40人が参加した
- 6. 桜越しに残雪をのぞむビュースポット

